



10月の特集

「福島県が全国に誇る秋祭りに行ってみよう！」 祭りの力で地域活性！盛り上げよう！元気！復興福島！！

秋祭りのシーズン到来♪ お薦めの秋祭りをご紹介します。

ふくしまの秋祭り2014

飯坂けんか祭り

日本三大けんか祭り

飯坂線(得)1日フリー乗車券 大人520円 小人260円 利用期間:10月4日(土)のみ

福島駅から飯坂温泉駅まで1日乗り放題の飯坂けんか祭りフリー乗車券。福島交通飯坂線有人駅で販売しております。八幡神社周辺には「駐車場」がありません。尚、飯坂電車の最終便福島駅行きは22時50分となっております。(10月4日のみ)

ゆれる提灯、きしむ屋台、太鼓の音が血を躍らせる

10月3日(金)・4日(土)・5日(日)

10月3日	11:00	例大祭
10月3日	17:20	移御式・御神火採火式 (御神火採火・御神火渡)
10月4日	5:00	離れ太鼓
10月4日	8:30	渡御遊幸
10月4日	13:40	引籠式
10月4日	19:00	宮入り(開始)
10月4日	22:30	宮入り(終了)
10月4日	22:40	渡御式
10月5日	11:00	後鎮祭
10月5日	17:30	千種屋狂言太鼓 (狂言・狂言・狂言)

秋の例大祭は、五穀の豊饒を神に感謝し、氏子崇拝者の隆昌を祈願する祭りである。本祭りの神輿渡御は町内を巡幸したのち、夜の帳が降りると太鼓の音響に担がれた6台の太鼓屋台を従え、御旅所を出発する。神輿を先頭に境内に入り乱れると、神輿の宮入りを阻む屋台が激しくぶつかり合う。揺れる提灯の灯明が夜空を焦がし、真打ちと打ち鳴らす太鼓の音が大地を轟かす様は圧巻である。大坂・岸和田の「地車祭り」、秋田・角館の「飾山ばやし」とともに「日本三大けんか祭り」の異名をとり、湯の町を祭り一色に染める。祭りの歴史は定かでないが、太鼓の調べは京都・祇園囃の流れを汲み、300年余の伝統を誇る。「下がり半」に「三切り」洗し「宮入り」の4種類の打法があり、儀式太鼓の風格と勇壮さを今に伝える祭り太鼓保存会や小学校の太鼓クラブによって郷土の伝統文化が受け継がれている。

●お問い合わせ先/飯坂八幡神社 TEL.024-542-2560

日本三大提灯祭り

二本松の提灯祭り

太鼓の響きに体を踊らせ、囃子の音色に心を震わす。幾千という提灯が秋の夜を彩る…二本松の代表的な風物詩

10月4日(土)・5日(日)・6日(月)

提灯祭りの由来

今から約370年前(寛永20年(1643年))、丹羽光重公が二本松城主として入府、**「よい政治を行うためには、領民にまじり敬神の意を高揚させること」と**考え現在の粟ヶ嶺に**二本松神社をまつり**領民なら誰でも自由に参拝できるようにしたのが、提灯祭りの始まりといわれています。

現在の祭り

現在は10月4・5・6日の3日間が祭礼日。4日は宵祭り、17:00に7町内の太鼓台が市内の中心部に集合、二本松神社の御神火で一斉に提灯に火がともります。1台に300余の提灯をつけた太鼓台が情緒豊かな祭り囃子の調べに合わせて市内を練り歩き、まは社前で途中で一番のみどころは、7町の太鼓台が全て揃う4日の宵祭りです。

●お問い合わせ先/二本松提灯祭実行委員会・二本松観光協会 TEL.0243-55-5122

10月4日	宵祭り
10月5日	本祭り
10月6日	後祭り

福島稲荷神社例大祭

福島の秋の夜を彩る勇壮な「連山車」の姿が圧巻

10月11日(土)・12日(日)・13日(月・祝)

10月11日	10:00	例大祭
10月11日	18:00	移御式 神輿への神霊移し
10月11日	12:30	本社神輿渡御 本社神輿が市内氏子36町会を渡御します。
10月12日	17:30	本社神輿渡御 神輿から御霊を神社へお移しします。
10月12日	17:30	連山車 24台の山車が駅前より神社を目指して運行
10月12日	10:00	後鎮祭
10月13日	11:00	二之宮・三之宮神輿宮出し 神社より稲荷前を回り、神社まで
10月13日	13:00	神輿宮入り
10月13日	18:00	山車宮入り

例大祭とは、神社に縁のある日に行われる、その神社にとって一番重要な祭です。神さまからの日頃の加護に感謝し、そのご神徳を称えることを最大の目的にしているため、お供え物にもお米やお酒、お塩のほかには海のものや山のもの、乾物・果物など、さまざまな種類のお供えが用意されます。またお神輿や山車を出して、町の発展やそこに住む人々の暮らしを神さまにご褒めいただきという行事も行われます。こうしたこと、例大祭の時期に合わせてさまざまな祭りが開かれるようになりました。年に一度の「例大祭」を楽しみにされている方もいらっしゃると思いますが、ただ間違えてはいけません。このお祭りは本来、人が豊田などを楽しむためのものではなく、神さまをお祭りのものだとおぼえて、お祭りを通して神さまとつながり、神さまをお祭りにしていただくという意識を持って担ぐのが本意です。どんなお祭りも元来は、神さまとのつながりを深め、神事を通して地域の人と人との結束を強めるために催されるものなのです。例大祭が行われる時期には、お記りにある神さまの力が非常に強まるといわれています。例大祭にお参りされるとともに、神さまのお力をいただいてお神輿や山車の行事を盛大に行い、ご自身の福氣をも盛らせていただけたらと思います。

●お問い合わせ先/福島稲荷神社 TEL.024-522-2702 (9:00~17:00)
●連山車に関するお問い合わせ先/福島秋祭り連山車実行委員会 中山伊知郎・中山栄正 TEL.024-522-3876
●三之宮神輿(担ぎ神輿)に関するお問い合わせ先/福島神輿を担ぐ会代表 渡辺浩光・駒田屋菓子舗 TEL.024-522-5534

第28回

寿



福島民報社・公益財団法人 福島市老人クラブ連合会 主催

しあわせ金婚夫婦

表彰伝達式が開催されました

戦後の混乱をようやく乗り越えた高度成長期。日本は国際舞台に歩みを進めてきましたが、まさに波瀾激動の半世紀でもありました。困難や苦勞は数えきれないものだったであろうご夫婦のみなさま。力を合わせて助け合いながら様々な困難や苦勞を乗り越えて、明るく楽しい家庭を築き、地域社会のためにご尽力いただきました。この度の伝達式を通じ、50年間の万感の思いが胸に込み上げてこられるご夫婦もいらっしゃるのではないのでしょうか。これからもご夫婦そろってご自愛いただき、夫婦円満、家庭円満に永く幸せな人生を歩まれていくことをお祈り申し上げます。改めて、金婚50年を心より喜び申し上げます。



平成26年9月5日(金) in吾妻学習センター



平成26年9月9日(火) in福島県文化センター

しあわせ金婚夫婦表彰記念誌 平成8年、第10回にご夫婦の50年間の夫婦生活の思い出の文集を制作したところ、大変好評だったことから、現在まで毎年続けて発行している記念誌です。

1年に1度のお祭りに、今年も世界最優秀ソムリエ、ジャンボン氏が、とっておきのセレクトをお届けします。

2014年11月20日 (第3木曜日) 解禁

予約受付中 配送料無料

今年は、ワンランク上のヴィラージュ・ヌーヴォーを厳選。好評の辰巳琢郎氏ブレンドによる特別なキュヴェもおすすめです。

Beaujolais Villages Nouveau 2014

ボージョレー・ヴィラージュ・ヌーヴォー 2014
キュヴェ TATSUMI

750ml
2,700円(税別)
(赤・辛口・渋味:軽い)

限定12本

ボージョレー・ヴィラージュの認証を受けた地区では、豊かな特長の数多くのワインが造られます。オーシュ社のワインマスターとジャンボン氏が絞り込んだ約20~30種のワインを、洗練された感性を持つ辰巳氏が自ら選び抜きブレンドします。

ボージョレー・ヴィラージュ・ヌーヴォー 2014
ドメヌ・ド・ポール
“ヴィエイユ・ヴィーニュ”

750ml
2,500円(税別)
(赤・辛口・渋味:軽い)

限定6本

ドレイウ家の父から子へ250年に渡り引き継がれる、ドメヌ・ド・ポールの伝統とワイン造りへの情熱。花崗岩質の丘に広がる65haの畑で丹念に育てられる葡萄は、フルーティーで優雅な香りの立つ、力強い味わいのワインに仕上げられます。

ボージョレー・ヴィラージュ・ヌーヴォー 2014
ドメヌ・デュ・シャピトル
“ヴィエイユ・ヴィーニュ”

750ml
2,500円(税別)
(赤・辛口・渋味:軽い)

限定6本

起源は12世紀まで遡るドメヌ・デュ・シャピトル。地区特有の土壌で育んだ、樹齢約100年の樹を含む樹々から収穫した葡萄で造るワインは、堅牢で骨格がしっかりとしたワインになります。“ヴィラージュ”の凝縮感あるヌーヴォーをぜひお楽しみください。

●配達指定日:11月20日以降 ●輸入者及び引取先:キッコーマン食品株式会社 ※ご注文・宅配区域は、三宅新聞店管轄区域内に限ります。

飲酒は20歳になってから。お酒は楽しく適量を。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。飲酒運転は法律で禁止されています。